

あなたと 家族のために 受けよう 乳がん検診

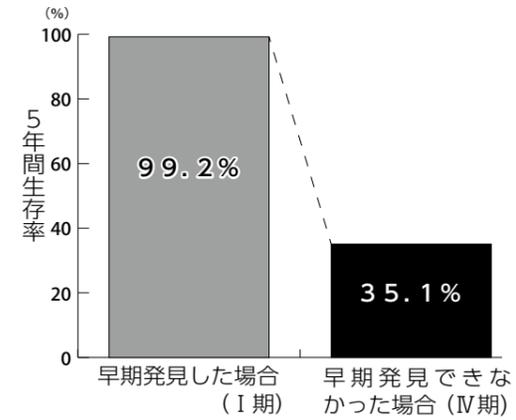
女性の12人に1人が「乳がん」にかかると言われていて、もう他人事とは思えない。「乳がん」は、女性が一生の中で一番かかりやすいがんなのです。

●乳がんは、40歳〜50歳代女性の
がん死亡の第1位です

日本では、年間1万人以上の女性が「乳がん」で亡くなっています。特に、家庭や仕事が忙しい40歳から50歳代の女性が「乳がん」にかかりやすい年代です。

●乳がんは、
早期発見で治癒します

「乳がん」は、早期に発見して治療すれば95%以上が治癒すると言われています。(下記グラフ参照)
正しい知識を持って、専門の医師と一緒に定期的に経過をみていくことが大切です。



●定期的検診のススメ

「乳がん検診」は、2年に1回必ず受診してください。多くの場合は、2年に1回の頻度で早期発見

●市の検診がお得です

乳がん検診は医療機関で自費で受けた場合、1万円ほどかかる高額な検査ですが、「市の集団検診」を利用すると、1,000円で受けることができます。また、医療機関(高島市民病院・草津総合病院)での個別検診は、1,500円で受けられます。
この機会に受診しましょう。

検査費用	10,000円
-) 市の助成	9,000円
自己負担	1,000円



あなた自身と 家族のために



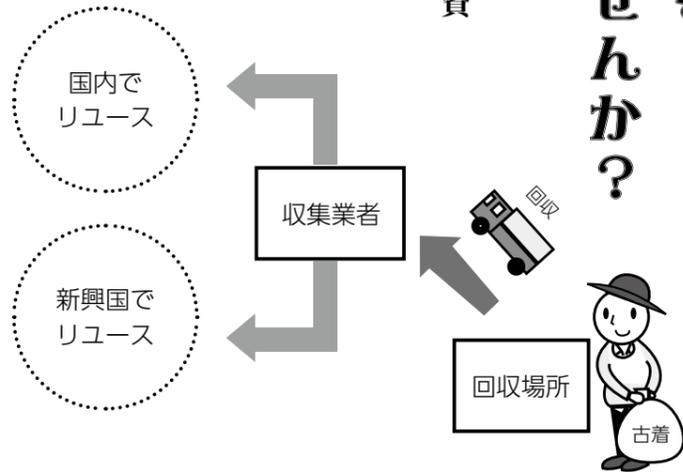
古着のリユースを はじめませんか?

着なくなった衣服はありますか?
古着のリユース(再使用)を活用し、資源の有効活用を心掛けましょう。

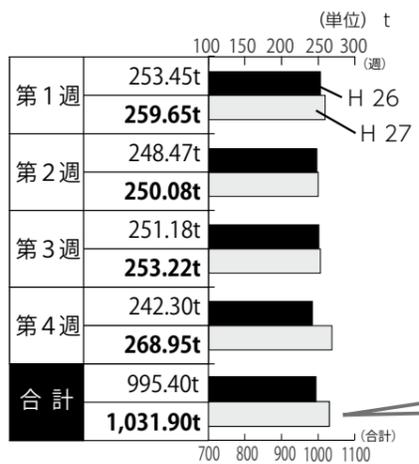
古着は、収集業者が回収した後、メーカに渡り、国内でリユースされたり、新興国へ輸出されたりします。
日本の古着は汚れが少なく、国外の方からは大変喜ばれています。

▼古着回収場所
市指定の拠点回収場所や、区・自治会の指定回収場所で回収しています。
▼出し方
古着は、中身の見える袋に入れて出してください。
ご協力をよろしくお願いいたします。

ただし、次のものは、「燃やせるごみ」で出してください。
シャツ、カーテン、ネクタイ、下着、帽子、布製かばん、革製品など



9月の燃やせるごみの収集量



市民の皆さんのご理解とご協力により、環境センターに収集される「燃やせるごみ」は、減少傾向にあります。9月の収集量が前年度同月に対して**36.5t (3.5%)**増加しました。引き続き、環境センターの負荷軽減と循環型社会形成のため、より一層のごみの分別・減量にご協力ください。

広報誌に掲載してから 初の増加

10月20日までの補助金申請受付状況

- 電気式生ごみ処理機..... 802件
- コンポスト..... 411件
- 事業所用(大型)生ごみ処理機..... 16件

第36回 大量ごみの処理は?

お困りではないですか?

大量のごみが出た。引越したくない。大量のごみが出た。引越したくない。

10kgにつき100円で引き取ります。

環境センターへ持ちこむ場合

自分で搬入ができません。お役所へ各支所に申し込んで下さい。

高島市では、搬入された粗大ごみのうち、使用可能なものを、リユース事業として有料で提供しています。

ごみは、粗大ごみとして有料で回収します。